

# JCAA NEWS

臨床美術

JAPAN CLINICAL ART ASSOCIATION

Vol.  
**65**  
2023  
WINTER



- 定期総会報告
- 協会からのお知らせ
- 指定校・芸術造形研究所からのお知らせ
- アートプログラム紹介



アートプログラム  
「ドラゴンコラージュ」

特別  
座談会

## アートで 幸福度を高める

第一部：フィンランドの教育・福祉とアート

第二部：企業におけるアートの効果

特別  
座談会

# アートで 幸福度を 高める

教育先進国、福祉大国として知られ、2018年から6年連続で幸福度ランキング1位\*を獲得しているフィンランド。

そんな“幸せの国”フィンランドで、臨床美術を基にした「エンカウンターアート」が実施されていることをご存知でしょうか。大学のカリキュラムとして「エンカウンターアート」を導入し、普及しているラウレア応用科学大学から3名の先生をお迎えし、芸術造形研究所代表取締役社長の大久保伸一氏を交えてアートと幸福度について座談会を行いました。

\*世界幸福度調査の結果に基づき、国連の持続可能開発ソリューションネットワーク (SDSN) が発表するランキング

フィンランドのアート事情について説明するヨハンナ氏(右)とアンネ氏(左)。通訳を介しながら、終始和やかな雰囲気。



①フィンランドではベリー摘みが盛んで、ブルーベリーやリンゴンベリー(コケモモ)、ラズベリーなどが身近な存在。

## 第一部：

### 子どもの教育と アート

ヨハンナ氏：私は幼児教育が専門なので、まずその観点からお話ししますね。フィンランドでは、赤ちゃんが生まれると子どもと一緒にできる趣味を始める家庭が多いんです。アートをベースにしたものだと「ベビーカーバス」があります。「バス」と言っても本当にお風呂に入るのではなく、「色を浴びる」という意味ですね。赤ちゃんが自然の物、例えばベリーやいろいろな果物を手で触って感じて、それらを使って体全体で絵を描くというものです(写真①)。

また、音楽にもかなり早い時期から触れさせます。これは子どもにとっても親にとっても大変役立っています。

幼児教育の段階になると政府でもカリキュラムを用意していて、様々なアートを取り入れた教育方式があります。五感を使って感覚を養うなど、幼児が学習していく上でプラスになっています。

アンネ氏：小学生以上に関しては、アートスクールなどお金を払って通う趣味を活性化させる学校もたくさんあります。学校の中でも政府が定めたカリキュラムがあり、専門の先生がアートや音楽、スポーツを教

## 【座談会メンバープロフィール】

### ヨハンナ・ホルミカリ氏

ラウレア応用科学大学上席講師、エンカウンターアーティスト、エンカウンターアート協会副会長。専門は幼児教育、特別支援、教育学、ソーシャルサービスなど。



### サリ・ヘイツキネン氏

ラウレア応用科学大学研究部長。専門は老年学博士、高齢者支援、技術開発など。



### アンネ・エスケイリネン氏

ラウレア応用科学大学上席講師、エンカウンターアート協会理事。専門は音楽療法、大学と社会貢献プロジェクト。



### 大久保 伸一氏

日本臨床美術協会／臨床美術学会理事（株）芸術造形研究所代表取締役社長、TOPPANホールディングス（株）副社長執行役員CHRO。TOPPANグループ健康保険組合理事長も務め、社員の心と体の健康増進に尽力する。



# フィンランドの教育・福祉とアート

えています。14歳、15歳になると自分で教科を選択することができ、アートが好きな人はアートの科目を自由に選択できるようになっています。

幼児も含め、早い時期から全ての子どもに平等にアートに触れる機会や権利が与えられているということが情操教育や幸せにつながっていると思います。

ヨハンナ氏：アートというと、絵を描いたり彫刻をしたり、といった印象がありますが、フィンランドでは、“マルチセンサリー”といって様々な感覚を使うことが基本となります。ただ絵を描くのではなく、音楽を聴きながら絵を描くとか、色々な物に触ってみるとか。人間は感情を持っているのでその感情をどう引き出すか。例えば演劇で何かの役を演じて、その役の気持ちを感じ取ろうとするアプローチ方法などがあります。人間の様々な感覚を研ぎ澄ますにはどういった方法がいいか、もっと広いところから、現象に対する気持ちの面からアプローチしていきます。

アンネ氏：教育の方法として、まず子どものアイデアや創造性を尊重しています。先生が、子どもがやりたいことに対して「じゃあこうしたらいいんじゃない？」とアイデアを

膨らませてあげることによって成長を促すというアプローチですね。

## 高齢者への アートを用いた ケア

アンネ氏：フィンランドでは、政府の新たなコンセプトとして、高齢者向けに文化的な要素（趣味やイベントなど）をケアに組み込む方針を打ち出しています。メンタルケアや身体のケア、コミュニティーづくりなど、認知症に効果を発揮するのではないかと注目されています。

サリ氏：病院や高齢者施設でアートを実施しているところもありますが、小規模な会社が運営しているケースが多く、もっと増やしていかないといけないと思っています。医療や介護においてアートをどう活用していくか、またその分野に従事する人たちへの教育も課題です。

ヨハンナ氏：高齢者施設に音楽家やアーティストが来て、アートを教える、自分が持っているアートの知識を共有する、一緒に何か作る機会もあります。ただ、現状ではボ

ランティアで行われることが多いので、解決しないといけない問題です。高齢者が元気になる、Well-beingが良くなることも大事ですが、若い人たちのことも考えないといけないですね。雇用の問題にもつながっていますから。

サリ氏：幸福度ランキングについて社会的な背景をお話すると、フィンランドは税金がとても高いです。小学校から大学まで教育費は無償で、ほとんど私立の学校はなく、公立の学校です。全ての子どもに平等に学ぶ機会が与えられていて、教育が約束されているので幸福につながっているのかもしれませんが、同時に税金が高いということは、社会福祉制度、ヘルスケアが誰にも平等に与えられている、その安心が幸せにつながっているかもしれません。

フィンランドも日本と同様に高齢化が進んで人口のバランスが変わり、将来を考えた時に、税金は次の世代に頼っている部分があります。以前よりも若い世代への依存度が高まっている状況ですね。

将来、アートをどうフィンランドの社会に普及、浸透させていくかは、ITやテクノロジーとどう融合していくのかが一つのキーワードになるかもしれません。

②大久保氏のお孫さんが描いた似顔絵と火炎土器の絵にメンバー一同、笑みがこぼれる。



## 第二部：企業におけるアートの効果

### 働く人の Well-being を高めるために — 凸版印刷の事例 —

大久保氏：いま凸版印刷では、社員を「労働力」ではなく「人財（人のたから）」「人的資本」という観点で、人を大切にするための制度を運営しています。幸せな人が集まっている会社こそ他の人々を幸せにできるという考えから、社員にとって Well-being な体制を作ろうとしています。

サリ氏：人を大切にするという考え方は、日本では一般的なのでしょうか？

大久保氏：そうですね。最近ではさらにその傾向が強くなっています。凸版印刷では、社員の Well-being を高める一つの制度として、臨床美術のワークショップ「アートサロン」を実施しています。これは非常に大きな役割を果たしています。グループ含めた新入社員600人を対象に、入社時の研修の一環としてリモートでアートサロンを実施しています。その他に、社員同士のアートサロンや、育児休業中の社員とその子どもを対象とした「はぐくみアートサロン」、親子で参加する「親子アートサロン」などもあります。これによって社員

同士のコミュニケーションと同時に、家族や親子でのコミュニケーションも非常にスムーズになっています。

わたしも孫と一緒に「親子アートサロン」に参加していて、これはその時に作った日本の縄文土器、「火炎土器」という作品です(写真③)。それからしばらくして孫が私たち夫婦の絵を描いてくれたのですが、そこに火炎土器も描いてありました(写真②)。孫の心の中には、火炎土器を作った思い出がしっかり残っていたんですね。

サリ氏：アートサロンを導入してみて、具体的にどのような効果がありましたか？

大久保氏：全体としては、社員同士や親子のコミュニケーションが活発になっていることが挙げられます。また個別に見てみると、入社できなかった社員がアートサロンに参加したことで心のバランスを取り戻し、会社に来られるようになったという事例もあります。

サリ氏：それは素晴らしいですね。ぜひ一

緒にプロジェクトをやりたいです。フィンランドでは国外への労働力の流出が増えています。職場における Well-being が課題になっています。日本の企業ではなぜ今、働いている人の Well-being を推進しようという動きになっているのでしょうか。

大久保氏：凸版印刷の例で言うと、デジタル化革命で仕事が激変し、新しい分野にどんどん進出して切り替えていかなければいけない状況があります。切り替えるという行為は新しくものを作る行為なので、「イノベーションを起こす」ことになるでしょう。しかし、ただ単に今までの延長線上ではイノベーションは起こせない。革命的な形でイノベーションを起こすのはやはり「人」なんです。ですから、いかに人が大切なのかを考え、自由な発想をしてもらうかが非常に重要になってきます。今、日本では既存の事業から新しい展開を余儀なくされている企業が沢山あります。そういう状況で、働く人の Well-being が重要になっていると思います。

## 「エンカウンターアート」とは

2006年、東北福祉大学で臨床美術のプレゼンテーションを視察したことをきっかけに、同年、フィンランドでスタート。2014年にエンカウンターアート協会が発足し、現在の会員数は約130名。ラウレア応用科学大学を含む3つの大学でエンカウンターアートが授業として組み込まれおり、各大学を卒業したエンカウンターアーティスト（日本でいう臨床美術士にあたる）は約350名にのぼる。高齢者の介護から始まり、現在は子どもから大人まであらゆる年代を対象に、学校、職場、刑務所など様々な場所で実施され、人々のWell-beingをサポートしている。

③大久保氏とお孫さんが「親子アートサロン」で制作した火炎土器



ラウレア応用科学大学で行われたエンカウンターアート作品展の展示

ヨハンナ氏：とてもユニークですね。日本ほど多くはありませんが、フィンランドでもエンカウンターアートを職場で実施して効果を見えています。社員同士の交流を図ることができ、コミュニケーションも開通になりますし、チーム作りに一定の効果があることが分かってきています。大久保社長のお話を聞いていて、クリエイティビティやイノベーションは人からくる、人材は会社にとって宝であり本当の意味でのリソースだというのが非常に面白い発想だと思いました。フィンランドの企業でも働く人に対するケアの必要性を理解し始めていますが、資金的な面でまだ本格的な導入には至っていません。これからの課題ですね。

大久保氏：もう一つは、京都大学と共同で、芸術を産業に役立てる研究をする講座を設けています。例えば「デザイン思考」というのがありますが、これはある目的に向かって色々なものを削ぎ落として磨いていく思考です。これに対して「アート思考」、アートを使った考え方というのは、無から有を創り出す、全く新しいものを創り出す、

まさにイノベーション的な思考の仕方です。芸術的な発想というのは新しい物を作るのにふさわしい思考の仕方ではないか、これを突き詰めると世の中にないものを作れるのではないかと追及しているところです。

サリ氏：とても興味深い取り組みですね。

ヨハンナ氏：今日伺ったお話はとても重要で、アートとWell-beingはこんなにも密接に繋がっていて影響していることを実感しました。フィンランドでも、凸版印刷や日本の事例を参考にエンカウンターアートを次の段階へ進めたいと思います。今日はありがとうございました。



座談会終了後、臨床美術アートプログラム「赤丸シールデザイン」を実施。ラウレア応用科学大学3名の先生、東北福祉大学准教授の大城泰造氏（後列右から3番目）、通訳のラッセル氏（後列右）、芸術造形研究所講師陣らで記念撮影。

※文章中の会社名は2023年2月時点での名称です。

# 2023年度 定期総会報告

5月28日に2023年度定期総会を開催いたしました。

5月28日時点において議決権総数は2192名で、本人出席77名、委任状による出席675名の合計752名で、定款28条に定める定足数3分の1以上を満たしたため、総会が成立したことをご報告いたします。

## 2022年度 事業報告

### ● 会員状況

	2021年度	2022年度	差異
資格認定会員	2364名	2386名	22名
5級	743名	767名	24名
4級	1363名	1361名	-2名
3級	217名	215名	-2名
2級	26名	28名	2名
1級	15名	15名	0名
団体賛助会員	8団体	8団体	0団体
指定校	5団体	5団体	0団体
認定施設	3施設	2施設	-1施設

### ● 認定施設・登録団体・指定校・アートサポーター・アート塾講師状況

	2021年度	2022年度	差異
指定校	5校	5校	0校
登録団体	13団体	11団体	-2団体
認定施設	3施設	2施設	-1施設
活動施設	153施設	160施設	7施設
アートサポーター(累計)	380名	382名	2名
アート塾講師(累計)	54名	58名	4名

### 1) 臨床美術の普及

- ・SNS (Instagram、You Tube、Face book、Twitter) の活用
- ・HPの活用
- ・会報誌 (JCAA)
- ・メルマガ (メール配信)

### 2) 臨床美術士への支援

- ・「なんでも談話室」(オンライン) 月2回の定期開催実施
- ・「職業別交流会」「地域別交流会」の実施
- ・アーカイブ配信 (勉強会、研修会) の実施
- ・被災地支援「心の復興支援」の実施
- ・養護施設「こどもの町」へのサポート実施

### 3) 臨床美術士の質の維持

- ・勉強会、研修会で会員へのフォローを実施
- ・週1回、You Tubeチャンネルを配信
- ・学会大会、勉強会のテーマ、講演者等を社会的動向も加味しながら検討、選定を実施 (勉強会テーマ例：子供・障がい者・若年性認知症など)

## 2022年度 決算

科目	2022年度予算	2022年度決算	差異
経常収益計	37,437,600	35,511,516	-1,926,084
経常費用計	36,692,000	35,084,364	-1,607,636
当期経常増減額	745,600	427,152	-318,448

### ● 定款変更について

2022年度定期総会にて、第9章定款の変更、解散及び合併 第61条2項の追加申請が議決されましたが、東京都からの指摘があり、今回「軽微な修正については理事長に一任する。」という条文の追加は行わないことになりました。今後内容の変更を伴う修正が発生した際には、その都度、検討を行います。

## 2023年度 事業計画

### ● 中期事業計画として

#### 1) 地域ネットワークの構築

- ・各地域にある核 (指定校、登録団体、認定施設、活動施設、脳が目ざめるアート塾など) を中心に、地域の臨床美術士が連携するネットワークを構築する。
- ・地域の自治体などとも連携して地域にあった臨床美術を提供し、地域に必要とされる臨床美術を確立し、その地域独自の活動につなげていく。
- 協会が各地域の核もしくは地域で活動する臨床美術士と協力し、地域で運営できる環境を整える。

#### 2) 全国ネットワークの構築

- ・全国 (全会員) のネットワーク構築により、臨床美術士が個々でも活動できる環境を整えていくことにより、活動の定着につなげていく。
- ・情報交換が活発、円滑になり、臨床美術の発展につながる。
- 協会が橋渡しをして、全国の会員をつなげていく。

#### 3) 他分野との連携

- ・社会的地位のある分野と連携することによる臨床美術の地位確立をすすめる。
- ・認知度の高い分野とのコラボによる臨床美術の普及をすすめる。
- 協会として、他分野で臨床美術士が活動できる現場を開拓し、その分野で活動できる臨床美術士の育成をしていく。

## 2023年度 予算

科目	2022年度決算	2023年度予算	差異
経常収益計	35,511,516	35,665,000	153,484
経常費用計	35,084,364	35,149,400	65,036
当期経常増減額	427,152	515,600	88,448

## 参加無料イベントのお知らせ

主催：日本臨床美術協会

### ● 交流会

臨床美術士が集まって活動情報の共有や情報交換の場として対面での交流会を開催いたします！会員同士の情報交換で新たな活動のヒントを得るチャンスです。一緒に活動する臨床美術士を探している方、活動を始めたいと思っている方、他の臨床美術士の皆さまと気軽におしゃべりしませんか。

### 【交流会スケジュール】

開催場所/会場	日程	申込締切日
長野 (諏訪) / いきいき元気館 会議室301号室	11月11日 (土) 15:30~16:30	11月6日 (月)
埼玉 / 埼玉県民総合活動センター セミナー室	12月2日 (土) 16:30~18:00	11月27日 (月)
広島 / ひろしま美術研究所	12月17日 (日) 15:30~17:00	12月11日 (月)
福岡 / アクロス福岡 609会議室	1月27日 (土) 16:00~17:30	1月22日 (月)

## 協会からのお知らせ

## 2024年度 年会費についてのご案内

2024年度の年会費について、以下をご確認の上、お支払いをお願いいたします。

●年会費 11,000円(消費税込み)

●納入方法について

「口座自動引落し」の手続きがお済の方

2024年2月27日(火)に指定口座より引落しいたしますので、事前にご指定口座の残高をご確認をお願いいたします。

「口座自動引落し」以外の方

2024年2月27日(火)までに「コンビニエンスストア専用支払伝票」にて、店頭レジにてお支払いください。

※支払伝票は、同封しております。

「口座自動引落し」を中止される方

2024年1月31日(水)までに協会事務局に、メールもしくは電話にてご連絡をお願いいたします。

●連絡先

日本臨床美術協会 事務局 (受付時間 9:30~18:00)

E-mail : association@arttherapy.gr.jp

TEL : 050-6865-3701

## 各種申請について

各種申請がホームページ上から行えるようになりました!詳しくは協会ホームページをご確認いただき、是非ご活用ください。

- 活動施設申請
- 賠償責任保険の加入
- 名刺作成
- 後援名義使用申請
- 「脳が目ざめるアート塾」の開業サポート申請
- ガイドブック提供の申請
- 登録情報変更(住所・電話番号・メールアドレス等)

※上記以外の申請については、従来通りの方法で申請をお願いいたします。

## 賠償責任保険の加入について

臨床美術士としていつでも安心して活動できるように、協会では、全資格取得会員の皆さまに賠償責任保険の加入を提供しております。加入料は無料です。詳しくは日本臨床美術協会ホームページにてご確認ください。

日本臨床美術協会ホームページ

<http://www.arttherapy.gr.jp/>



## 経済産業省の報告書に掲載されました!

経済産業省の「アートと経済社会を考える研究会 報告書」に臨床美術が掲載されました。企業でアートを導入した効果についての報告の中で紹介されています。

右記QRコードより、報告書(PDF)をご覧ください(臨床美術はp89に掲載)。



## YouTubeやSNSに投稿する際の注意点について

YouTubeやSNSに投稿する際には、下記に留意いただきたくお願いいたします。

## 【写真】

- セッションの開始～終了までの連続した写真の投稿は行わない。
- 参加者の制作風景は遠景にとどめ、近景を使う場合2工程までとし、全工程の写真投稿は行わない。
- 参加者が制作した作品および参加者の写真については、必ず参加者の同意を得た上で投稿を行うこと。
- アートプログラムの実施手順が分かるような詳細な説明文および写真の投稿は行わない。ただし、アートプログラムの概要や使用する画材等について、芸術造形研究所のホームページで紹介されている内容に準ずるものであれば、掲載は可能とする。

## 【動画】

- 撮影した動画は編集を行い、セッションの開始～終了まで継続した動画は使わない。
- 臨床美術士のデモンストレーションは2工程までとし全工程のデモ動画を使わない。
- 参加者の制作風景は遠景にとどめ、近景を使う場合2工程までとし、全工程の動画は使わない。
- 参加者が制作した作品および参加者の動画については、必ず参加者の同意を得た上で投稿を行うこと。
- アートプログラムの実施手順が分かるような詳細な説明文および写真の投稿は行わない。ただし、アートプログラムの概要や使用する画材等について、芸術造形研究所のホームページで紹介されている内容に準ずるものであれば、掲載は可能とする。

## アンケートご協力をお願い

皆さまのお声をお聞かせください。



活動状況について



JICAについて

## 【交流会お申し込み方法】

下記URLもしくはQRコードからアクセスし、申込みフォームに入力の上、送信してください。

<お申込みフォーム>

<https://forms.gle/ufYb3pbZYjNtvRMN7>



## ●なんでも談話室&lt;オンライン&gt;

一人で考え、悩んでいることを気軽に話せる場として開設しています。現場を運営する際の困りごと、臨床美術実施についての質問、資格取得後の相談、講師と久しぶりに話をしたいなど。養成講座の講師がお話を伺います。お悩みを一緒に考え、解決方法を探っていきます。気軽にお申込みください。

## 【談話室お申し込み方法】

下記URLもしくはQRコードからアクセスし、申込みフォームに入力の上、送信してください。

<お申込みフォーム>

<https://forms.gle/sDCpk27wG5zuN4tV7>



## 指定校からのお知らせ

### ひろしま美術研究所

#### ● 研修会

講座名	対象	日程	申込締切日
季節の行事シリーズ研修会 No.17「めでたい屏風」	4級取得以上	2023年12月17日(日) 10:00~12:00	11月27日(月)
CAC 研修会 No.28-30	5級取得以上	2023年12月17日(日) 13:00~15:00	11月27日(月)
最新アートプログラム研修会 No.53「巨樹を描く」	4級取得以上	2024年 3月10日(日) 10:00~12:00	2月22日(木)
ワークショッププログラム研修会 No.1-4	5級取得以上	2024年 3月10日(日) 13:30~15:30	2月22日(木)

#### ● 臨床美術士資格取得講座

講座名	日程	申込締切日
5級 2023年12月期	2023年12月26日(火)・27日(水)・2024年1月8日(月祝)・14日(日)・28日(日)	12月12日(火)

【申込窓口】 ひろしま美術研究所 TEL:082-506-3060 E-mail: ach@art-hiroshima.com

※各地の最新の研修会情報は芸術造形研究所のホームページでもご確認いただけます。

## 芸術造形研究所からのお知らせ

#### ● 臨床美術士資格取得講座

	講座名	期間	会場	申込締切日
通学	5級 2024年2月期 水曜日クラス or 土曜日クラス	全6日間	会場：東京	1月24日(水)
	4級 2024年1月期 水曜日クラス or 土曜日クラス	全9日間	会場：東京	12月20日(水)
通信	2023年12月期 12月22日(金)・23日(土) スクーリング(オンライン)	2日間+5カ月	Zoom 開催	11月22日(水)
	5級 2024年1月期 1月13日(土) スクーリング(対面)	1日間+5カ月	会場：東京	12月21日(木)
	2024年2月期 2月16日(金)・17日(土) スクーリング(オンライン)	2日間+5カ月	Zoom 開催	1月18日(木)
オンライン	4級 2024年3月期 3月16日(土)・17日(日) スクーリング(対面)	2日間+6カ月	会場：東京	2月22日(木)
	5級 2024年2月期 金曜日クラス 日曜日クラス	各全6日間	Zoom 開催	1月11日(木)
	4級 2024年1月期 火曜日クラス 土曜日クラス	各全9日間	Zoom 開催	12月21日(木)

※東京校では上記講座の他、感性アートゼミほか各種講座、研修会も開講しています。  
詳しくは芸術造形研究所のホームページでご確認いただくか、担当までお問合せください。

#### 【申込窓口】 芸術造形研究所

- 通学講座・オンライン講座 TEL: 03-5282-0210 E-mail: school@zoukei.co.jp
- 通信教育 TEL: 03-5282-0210 E-mail: tsushin@zoukei.co.jp

※予定されている講座につきましては、中止または変更になる場合があります。予めご了承ください。

BESTシリーズに新たに加わった、  
新年にぴったりのアートプログラムを  
ご紹介します！

#### 季節の行事【D-20】「ドラゴンコラージュ」

完成作品サイズ(高さ×幅) 26cm×55cm

紙素材を長くつなげるというシンプルな手法ながら、  
素材のテクスチャによって、見ごたえのある龍を表現  
します。龍という空想上のモチーフをテーマにする  
ことで、多様な発想や、人と違ってもよいという  
安心感を得やすいこともポイントです。屏風に仕  
立てるので、そのまま立てて飾ることができます。



アートプログラム販売  
キャンペーン中!!

(干支の「ドラゴンコラージュ」も対象です)

詳細はこちらから

[https://www.zoukei.co.jp/  
uncategorized/2023/10/09/ap/](https://www.zoukei.co.jp/uncategorized/2023/10/09/ap/)

11月7日(火)  
まで

#### 体験会・ワークショップ用の 臨床美術アートプログラム 配付について

会員の皆さまからのご要望を受け、臨床美術普及のために開催される体験会・ワークショップに適したアートプログラム2作品を同封いたします。比較的短時間で制作ができるアートプログラムです。使用画材はオイルパステルや色鉛筆です。多くの方に臨床美術を知っていただくきっかけとして是非ご活用ください。(日本臨床美術協会後援・協力)

#### 臨床美術JCAA ニュース第65号

2023年11月2日発行

発行/特定非営利活動法人 日本臨床美術協会



特定非営利活動法人

日本臨床美術協会

Japan Clinical Art Association

【事務局】〒251-0047 神奈川県藤沢市辻堂1-9-3 ShonanEminence 3階  
TEL: 050-6865-3701 FAX: 050-3737-9007

※本誌掲載の記事・写真・イラストの無断転載および複写を禁じます。